

# 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.04.21-05.09

※記事は東京発行・最終版

## CHINA

4月21日(月)

三菱日立PS、中国に統括会社  
火力発電/重複業務を整理  
火力発電システムの新会社・三菱日立パワーシステムズは、中国に地域統括会社を6月設立する。グループ7社を束ね、重複業務を減らし経営資源を再配分する。北米にも統括機能。(1面)

「北京モーターショー」開幕  
中国専用車を投入

「北京モーターショー」が開幕した。日系メーカーの中国専用車や、現地で人気のスポーツ多目的車(SUV)などが披露された。中国メーカーも台頭、競争は熾烈になっている。(1面)

トヨタ、中国200万台

2017年/新型15車種投入  
トヨタ自動車は、中国で2017年末までに15車種の新型車を投入し、将来、現地での販売台数(トヨタ・レクサス含む)を200万台(2014年計画は110万台以上)規模に拡大する。(7面)

日産、EVを中国で生産  
現地専用ブランド/基幹部品から現地化

日産自動車は、中国で電気自動車を現地生産する。現地専用ブランド「ヴェーシア」のEV第1弾「e30」。EVを現地生産するのは初めて。電池やモーターの基幹部品から現地化。(7面)

スズキ、中国でSUV

「iV4」  
スズキは、中国で新開発の小型スポーツ多目的車(SUV)を2015年に発売する。iV4はSクロスに続くSUVの戦略商品となる。北京モーターショーで、コンセプト車を公開。(7面)

アイシン精機、中国3倍

売上高3000億円/欧米・現地系開拓  
アイシン精機は、2020年度に中国でグループ全体の売上高を3倍の3000億円に



「北京モーターショー」が開幕。中国は新車販売が年間2000万台を突破。競争が熾烈になっている(21日付)

引き上げる。トヨタ自動車以外の欧米系や現地資本メーカーに主力のボディ、エンジン部品などを拡販する。(7面)

東燃ゼネ、上海に拠点

電線被覆材向け開拓  
東燃ゼネラル石油の完全子会社・NUCは、上海に駐在員事務所を新設する。電線被覆材向け製品で高い需要の伸びが見込め、現地顧客との窓口。現地ニーズの把握や技術支援。(12面)

4月22日(火)

GM、120億ドル投資

瀋陽など5工場新設  
米GMの中国現地法人は、2014年から2017年の間に中国で120億ドルを投資する計画。生産能力を65%引き上げる一環として、中国で5工場を新設する。武漢、重慶、瀋陽などを予定。(時事=6面)

「ジープ」中国で生産

フィアット・クライスラー  
フィアット・クライスラーは、中国で提携している広州汽車集団とSUV「ジープ」3種類を中国で生産開始する。中国向けの独自仕様の生産も検討している。(時事=6面)

## ASIA

4月21日(月)

パキスタンで「ワゴンR」

スズキ/1000cc現地仕様  
スズキは、パキスタンで軽自動車「ワゴンR」を改良した小型乗用車を発売した。ワゴンRの海外生産は、3カ国目。1000ccエンジンを搭載するため、全長を伸ばして現地仕様にした。(7面)

ナンヨー、タイに第2工場

大型鋳物部品/月産600トン  
ナンヨーは、タイで第2工場を6月に稼働する。工作機械や産業機械、プレス金型向けの部品など最大重量4.5トンの大型鋳物部品を生産できる。当初の月産能力は600トン。(9面)

4月22日(火)

ルネサス、インドに販社

2輪車向け半導体製品  
ルネサスエレクトロニクスは、インドに同社にとって初となる販売会社を設立した。2輪車向け半導体製品を重点分野に設定。産業機器、民生機器向けのソリューション製品も開発。(9面)

信越化学、レアアース磁石工場

ベトナム/年産1000トン  
信越化学工業は、ベトナムにレアアース磁石の製造拠点を2015年9月に稼働する。年産能力は1000トン。工場を追加新設して同2000トンに引き上げる。HVなどの世界的な需要拡大に応える。(13面)

電気化学、台湾に現法

スマホ用接着剤/LED用蛍光体  
電気化学工業は、台湾・台北市に現地法人「台湾電科」を設立した。スマートフォン部品加工用の接着剤やLED用蛍光体をアジアで拡販。台湾で現地生産も検討。(13面)

4月23日(水)

カシオ、タイ生産拠点を拡張

電卓・電子辞書/合計月110万個  
カシオ計算機は、タイの生産拠点を拡張して6月から稼働を始める。中国で生産している電卓と電子辞書の生産を一部移管する。2品種の合計で最大月産110万個。(8面)

三菱商事、ミャンマーで昇降機

現地大手財閥と合併  
三菱商事は、ミャンマーでエレベーターとエスカレーター関連事業に参画する。現地大手財閥・SPAグループと、三菱電機昇降機の販売や据え付け、保守の合併会社を設立する。(11面)

味の素、インドネシアで香粧品

化粧品・シャンプー向け

農用飼料の拡販につなげる。(16面)

エービーがフィリピン工場

金型設計製作・部品加工  
エービーは、フィリピンの現地法人「エービー モールド フィリピン」を6月に稼働する。金型設計、部品加工、金型製作の体制を整えた。中国・珠海の設計センターが教育を担当。(8面)

4月28日(月)

ドコモ、タタTSL株売却

業績未達/1254億円  
NTTドコモは、インド携帯電話会社タタ・テレサービスの保有株式を売却する。2014年3月期の業績目標を達成できなかった場合、最低725億ドル(約1254億円)で保有株を売却できる。(11面)

タイで高耐食性メッキ鋼板

新日鉄住金/初の海外生産  
新日鉄住金は、タイで高耐食性メッキ鋼板「スーパーダイマ」を現地生産する。提携する豪ブルースコープ・スチールとのタイの合弁会社で約30億円を投資、生産設備を改造。海外生産は初。(12面)

マレーシアに東南アジア統括拠点

日本スベリア社  
日本スベリア社は、マレーシアで東南アジア南部の営業を統括するヘッドクォーター「日本スベリア・アジア」を設置。RoHS除外品の削減を見越し鉛フリーハンダ材料の営業を強化。(12面)

4月29日(火)

FDK、インドネシア増強

アルカリ乾電池/年6億本  
FDKは、アルカリ乾電池を生産するインドネシア工場を増強する。欧米向けOEM供給が増えるため、年間生産能力を年間5億本から6億本に引き上げる。約15億円投資。(7面)

インド重電メーカー買収

東芝三菱電機産業システム  
東芝三菱電機産業システムは、インドの重電メーカー「AEGパワーソリューションズ(インディア)」を6月に買収する。約13億円。太陽光発電用電力変換装置を生産・販売。(7面)

4月30日(水)

医薬中間体、インドで生産

三菱ケミカル系/日系から受託  
三菱ケミカルHDD傘下のAPIコーポレーションは、インドで日系企業から受託した医薬中間体の生産を7月にも始める。品質管理とインドの安価な労働力を組み合わせた生産拠点を稼働。(8面)

水環境の改善で事業者を募集

環境省/アジア太平洋  
環境省は、アジア太平洋で水環境の改善ビジネス展開で、企業化調査および実証試験を行う事業者を募集する。生活排水処理や産業排水処理、水域の直接浄化事業、水質モニタリング。(8面)

4月28日(月)

ソーリツ、大型減速機輸入

中国ポーノンと代理店契約  
ソーリツは、中国の大型減速機メーカー、ポーノンと日本における販売代理店契約を結び、4月に受注活動を始めた。年内にも技術者を3人採用し、アフターサービスを始める。(9面)

4月29日(火)

ダイハツ、中国から調達拡大

自動車部品/倍増60億円  
ダイハツ工業は、中国からの自動車部品調達を金額ベースで2015年3月期に2倍の60億円に拡大する。インドネシアに輸出を本格化、日本へも増量。(5面)

常熟経済技術開発区に進出

太平洋工業/製造子会社  
太平洋工業は、中国での新設を公表していた直接式タイヤ空気圧監視システム製造子会社の進出先を江蘇省常熟経済技術開発区とし、稼働時期を2016年4月とした。(5面)

4月30日(水)

PM2.5対策など日韓で協力

環境相会合/共同声明  
日韓3カ国環境相会合は、微小粒子状物質PM2.5などの大気汚染問題をめぐり、各国が優れた防止事例や削減技術の紹介などを通じて協力することを明記した共同声明を採択した。(2面)

電気化学が地域統括会社

中国・シンガポールに設立  
電気化学工業は、セメントの強度改善などに使う特殊混和材の地域事業統括会社を中国とシンガポールに設置し、営業を始めた。中国上海市には電化創新(上海)商貿を設立。(8面)

5月1日(木)

浜井産業、研磨機360台受注

中国/スマホ向け  
浜井産業は、中国のガラス加工会社からスマートフォンのサファイア基板を磨



現地の竣工式に参加したAPIコーポレーションの近藤清社長(右)

5月1日(木)

青木科学研、シンガポール工場

油性離型剤/月産400トン  
青木科学研究所は、シンガポールにダイカスト製品向け油性離型剤工場を建設する。5月に着工し、完成は10月の予定。月産能力400トン体制を整備する。総額約5億円を投資。(18面)

5月2日(金)

アジアの不動産物件を紹介

エイリックがサイト  
エイリックは、アジア諸国の不動産物件情報を紹介するポータルサイト「ARIC」を開発した。当初はタイ、マレーシア、フィリピン、シンガポールの4カ国で約100物件を掲載。(11面)

5月5日(月)

DTSS、ベトナムに現法

オフショア開発/BPOセンター  
DTSSは、ベトナムのハノイ市に現地法人「DTSSソフトウェア・ベトナム」を設立した。オフショアによる受託開発や住宅CADの人力に加え、BPOセンターとしての役割を担う。(9面)

5月8日(木)

インラック首相、失職

タイ憲法裁判所/高官人事に違憲判決  
タイ憲法裁判所は、インラック政権下で行われた高級官僚の更迭人事をめぐり、インラック首相が憲法に違反して不当に介入したと認定、失職するとの判決。一部の閣僚も失職。(時事=2面)

超硬研磨機、インドで受注

えのきだ/新興国の成長開拓  
えのきだは、インドで全自動超硬研磨機2台を受注した。丸鋸刃を再研磨する現地企業向けで、インドで受注を決めたのは同社初。新興国の成長など海外市場の伸びを取り込む。(7面)

東亜建設、ベトナム発電所建設

石炭火力/160億円  
東亜建設工業は、丸紅がベトナム国営電力グループから請け負ったタイビン省タイトゥイ地区の石炭火力発電所「タイビン1石炭火力発電所」建設工事を受注した。受注金額は約160億円。(12面)

く工作機械を約50億円で360台受注。同社として過去最大の受注規模。装置の品質と短期間で大量納入に評価。(1面)

パワコン、中国などで増産

山洋電気/月4000台  
山洋電気は、太陽光発電装置用パワコンディショナー生産を月産約2000台から倍の同4000台に。小型モデルを中国の協力工場で生産している。フィリピンでも開始。中型は長野県。(6面)

5月2日(金)

日韓で環境対策強化

大気汚染・生物多様性など9分野  
環境省は、中国・韓国と共同で2015年からの5年間に、大気環境改善や生物多様性、気候変動対策など環境に関する9分野で連携を強化する。9分野の共同行動計画を採択する。(2面)

三菱商事がLNG生産合弁

カナダ/シェル・中国・韓国企業  
三菱商事は、英蘭ロイヤル・ダッチ・シェル、韓国ガス公社、中国石油天然気集団とカナダで進めるLNG生産・輸出プロジェクトで合弁契約。操業会社を設立した。年産1200万トン。(3面)

5月6日(火)

ナベル、上海に現法

鶏卵選別包装システム開拓  
ナベルは、上海に現地法人を設立した。鶏卵選別包装システムの販売、メンテナンス拠点とし、選別包装自動化が進んでいない中国市場を開拓する。中国の鶏卵生産は年2400万トン。(5面)

5月8日(木)

IHI、LNGタンク2基受注

中国ウィソンから20億円  
IHIは、洋上プラットフォームの設計・調達・建設(EPC)大手・中国ウィソンから浮体式LNG受け入れ・再ガス化設備向けLNG貯蔵タンク2基を受注した。受注額は約20億円。(1面)

中小輸出、円安がcaぜず

中国の需要減退響く  
海外展開をしている企業は、2012年10

今回は -  
「中国・アジア ダイジェスト」面の  
今回は26日(月)に掲載します。

月の円高アンケートと比較し、中国の需要減退などで1年前と比べ大きく減少。円安にもかかわらず輸出企業は減少。東京商工会議所がアンケート。(23面)

5月9日(金)

日揮、アオコ除去・水浄化技術  
雲南省「てん池」/環境技術輸出弾み

中国の湖の中でも汚染度が高い雲南省「てん池」に、日揮のアオコ除去・水浄化技術の採用が内定。10年間で約4900億円の大口案件。日本から中国へ環境技術の輸出に弾みがつきそうだ。(3面)

## TELOP

チノー、中国で放射温度計校正

7月インド/9月タイ(21日9面)

コンテナ運搬船4隻を受注

常石造船(21日9面)

キャデラック、年10万台

米GM(時事=22日6面)

独ダイムラー、2ケタ増へ

今年の中国販売(時事=22日6面)

中国向け小型SUV

現代自(時事=22日6面)

世界最高速エレベーターを納入

日立/広州超高層ビル(22日9面)

上海吉祥航空、保有100機に

2020年めど(24日19面)

ひと

世界最速エレベーター

「2016年に中国の超高層複合ビルに納入したら、世界一速いエレベーターになる」と胸を張るのは、日立製作所で都市開発システム社社長を務める池村敏郎さん。分速1200メートル。「駆動力が必要だが、振動や騒音を抑える技術もいる」と秘訣を語った。(28日=11面)

「円・ルピア」通貨スワップ

国際協力銀行保証(1日13面)

コニカミノルタ、バンコクに販社

複合機など(2日7面)

筑波大、マレーシアなどに事務所

マレーシア工科大内(2日15面)

佐藤商事、東アジア拠点を拡充

日系製造業が海外シフト(5日10面)

植物遺伝資源の特性解明で共同

農業生資研、東南アジア3国(8日13面)

インドネシアの大学で特別講座

愛知県立大(8日19面)

シャープ、カンボジアに納入

太陽光発電/イオンモール(9日13面)

萩原電気、バンコクに販社

電子部品(9日13面)

ひと

お求めやすい車をお届け

「軽自動車はプラットフォーム統合の典型だ」と、スズキ副社長の本田治さんが、軽は先行している」と説明する。軽の車台はインドや東南アジアの小型車にも展開しており「多くのお客さまにもお求めやすい車をお届けしている」と胸を張る。(21日=7面)

新興国の難しさ実感

「中国は政治、インドは州ごとの税法変化がある」と、4月に就任したクラリオン社長の川本英利さんは新興国の難しさを実感する。不安要素はあるが、成長の機会を果敢に狙う考えた。「アクセルを踏むが、いつでもブレーキを踏めるようにしておく」。(22日=6面)

クルマ本来の走る楽しさ

「コペンの名称を継承しつつ、6月には新たな名前を付けたい」と、ダイハツ工業執行役員の土田亨さん。新型軽SUVは「クルマ本来の走る楽しさ、持つ喜びを追求した」。軽自動車の技術はインドネシアで投入した小型車「アイラ」のように、海外展開できる。(24日=5面)

早い進出が奏功

「来年で20年になる」とタイ進出を語るのは、ナンヨー社長の南陽良幸さん。車部品製造の現地合弁会社「M.N.T.」は1994年の設立だ。段階的に増強し、月産能力2500トン。「早い進出が奏功したが、まだまだこれから」と感慨に浸る間もなく、次の手を打つ。(1日=7面)